



栄光の未来

R5.10.6
第13号

前期終了！頑張りを後期につなげよう！

4月にスタートした令和5年度が、早くも折り返しの時期となりました。生徒の皆さんには「自主・自律」や「主体性」「協働」の姿を期待してきましたが、先日の東翔祭での皆さんの姿をはじめ、学校生活の至るところでそれらの様子を感じることができ、前期での皆さんの確かな成長を感じています。

また、生徒会活動を中心に、「自治」とそれに向けた「責任を伴った自己決定」も求めてきました。大人の決めた枠に収まって何の疑問も抱かずに生活するのではなく、「自分たちの学校を自分たちの手で創る」という意識をもって改革を進めることを期待しました。現状を打破することは決して簡単なことではなく、困難が伴います。現状維持ほど楽なことはありません。そうした中で、「こうしたい」「こうしてもらいたい」と現状を変えるために校長室を訪れた生徒が延べ11人います。要望を受けてすぐに現状を変えることができたものもあれば、要望を受け入れることの問題点を一緒に考え、別の方法を生徒自身が見出して新たな動きにつなげたものもあります。いずれにしても、この生徒たちの決断力、行動力は素晴らしいものです。自らアクションを起こす勇氣に感心し、頼もしさを感じます。このような動きが後期には大きなうねりとなって、「自治」が一層推進されることを期待しています。

短い秋休みをはさんで、10日（火）から後期が始まります。一人一人が改めて自分の「目指す姿」を見つめ、そこに迫ろうとする意識を高めて後期を迎えてください。

地域合同防災訓練で、3年生が大活躍！

今年度、東石山中学校区の小中学校では、4年ぶりに実施された10月1日（日）の地域合同防災訓練の日を授業日とし、児童生徒全員で活動に参加しました。東石山中では、全校生徒が1次避難、2次避難を行った後、1・2年生は学校で防災に関する授業、3年生は2次避難所での訓練や避難所設営を行いました。そして、午後は全校で防災に関する講演を聴き、1日を通して防災に対する学びを深めました。



新聞紙でスリッパ作りに挑戦！

先日、これにかかわって地域の方からうれしい電話をいただきました。「2次避難所での生徒の活動の様子がとても素晴らしかったです。いろいろな役割があったのですが、どの活動にも大変一生懸命取り組んでいただけでなく、生徒同士のコミュニケーションがとてもよくとれていて感心しました。男女を問わず生徒間の壁がなく、仲のよい生徒たちだということがよく分かりました。素晴らしい生徒さんですね。」という内容で、電話をくださった方は3年生の姿を大絶賛していました。

さすが東石山中の3年生です。9月の東翔祭で見たリーダーシップやチームワークのよさが、今回の地域の活動でも発揮されていたことを、とてもうれしく、誇りに思います。



いざ災害が起こったときは、地域の主戦力は中学生です。活動に取り組む3年生の姿は立派でした！